

I N A C H O ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：熊谷 健 副会長：井上 修 幹事：小椋文成 公共イメージ向上委員長：太田明良

	<p>2024-2025 国際ロータリーのテーマ ロータリーのマジック</p>	<p>2024-2025 RI会長 ステファニー A. アーチック <米国ペンシルバニア州></p>	
<h2>第1739回例会 令和7年5月20日(火)</h2>			

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 伊那中央ロータリー讃歌 加藤篤ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

伊那西高校インターアクトクラブ

- ・顧問 清水鴻佑 様
- ・会長 森 弘佳 様
- ・幹事 下井咲和 様

■ 会長談話 熊谷健会長



今日は、時間の関係上「クラブフォーラム」を先行させていただき、会長談話を後に持ってきました。少し変則的ですが、宜しくお願いいたします。

先週は、戦後日本を凛として生きた女性詩人 茨木のり子さんの話をしました。今日は、私の最も好きな詩人である金子光晴さんの話を少ししたいと思います。

金子光晴は、太平洋戦争中の日本で筆を折ることなく反戦詩を書き続けた孤高の詩人として知られていますが、その詩が素晴らしいというだけでなく、その生き様が詩人であった、そんな人であったと思っています。特に戦前・戦中の彼の生活は壮絶で、とてもここでは話し切れないのですが、今日はその断片だけ少し披露したいと思います。

実は、大正時代から昭和初期までの日本は、大正デモクラシーといわれ自由な思想が語られる余地がありました。そんな中でプロレタリア運動が燃えさかり、プロレタリア文学や左翼系文学が社会に受け入れられていきました。左翼作家・左翼詩人でなければ文学者に非ず、といった風潮でしたが、金子光晴はそんな時代の流行についていくことを好まず、金もないのに、日本を離れることを決意します。

森美千代（もりみちよ）という奥さんとの5年に亘る壮絶な旅が始まります。中国、東南アジア、ヨーロッパと渡り歩き、お金のなかった光晴は、旅先で絵をかいたりして旅費を稼ぎました。この辺の話は、今日の本題ではないので省きますが、きれいごとではなく世界を放浪し続け、やっとの思いで日本へ帰ります。

日本へ帰った光晴は、5年という年月ですっかりと変わってしまった日本を目の当たりにします。あれほど盛んであったプロレタリア文学は弾圧され、プロレタリア作家の多くが転向させられていました。

日本政府は、中国侵攻を経て昭和13年、国家総動員法を施行、太平洋戦争に突入します。文筆家に対する圧力も次第に増して、昭和17年「日本文学報国会」というものが結成され、作家や詩人もすべてがここに統一されて、戦争に協力することを誓いました。詩人の高村光太郎たかむらこうたろうや画家の藤田嗣治ふじたつぐはるが、従軍作家や従軍

画家として戦争を賛美する作品を作っていたことは有名です。

世を挙げて戦争に興奮する世相をよそに、金子光晴は、いつ日の目を見るかもしれない反戦詩を黙々と作り上げました。

「法灯をつぐ」という仏教の言葉があります。「乱世末世になって誰も仏の教えをかえりみるものがなくなっても、燈明を絶やささないで、次の世代に引き渡せるよう努める。」という意味ですが、金子光晴はそんな思いで、優れた詩を続々と書き溜めて行きます。誰に見せるでもなく、発表するためにでもなく、ただ「詩の灯」を守るために、書かずにいられなかったのだと思います。

戦後に発表された作品集をみると、日本人の心をいとおしむ気持ちと、戦争に熱狂していく日本人を嘆く気持ちとが相混ざり、その中でひとり反逆し、孤高を貫く傑作がたくさん生まれていました。

集団の熱狂ほど恐ろしいものはない、と先週話をしました。金子光晴は、みんなが熱狂に酔っ払っているとき「たったひとり醒めているぞ。視ているぞ。」という姿勢を貫き通しました。

最後に、彼の詩「おっとせい」の一説を披露して、会長談話を閉じたいと思います。

だんだら縞のながい影を曳き、みわたすかぎり頭をそろへて、拝礼をしている群衆の中で、

侮蔑しきったそぶりで、

ただひとり、

反対をむいてすましているやつ。

おいら。

おっとせいのきらいなおっとせい。

だが、やっぱりおっとせいはおっとせいで

ただ

「むこうむきになっているおっとせい。」

■ ニコニコボックス

- ◆熊谷健 今日クラブフォーラムで、伊那西インターアクトクラブの会長 森様、幹事 下井様、顧問の清水先生にお越しいただきました。後ほど、活動紹介をよろしく願いいたします。
- ◆小椋文成 先週末行われた高校総体南信大会で、二女が円盤投げ・やり投げで優勝、砲丸投げで4位になり県大会に進みました。頑張ってください。
- ◆伊藤かおり 清水先生、伊那西インターアクトの皆様、本日はようこそお越し下さいました。活動発表、楽しみにしております。
- ◆宮原英幸 伊那西IACの方々、ようこそ。次年度も宜しく願いします。

■ クラブフォーラム

「青少年奉仕委員会」

・委員長挨拶 宮原英幸青少年奉仕委員長



伊那西 IAC の皆さん、顧問清水先生、森会長、下井幹事、ようこそおいでくださいました。

本年度は、1年生の入会が8名であり、全体で16名となりました。明るい皆さんですので、楽しく有意義なクラブ活動ができるものと期待しています。

また、今年は清水先生がお一人で顧問ということですが、校長先生がしっかりサポートしていただけるとのことで、心強く思います。

本日はその活動報告がありますので、皆様、期待してお聞きいただきたいと思います。

・伊那西インターアクトクラブ顧問挨拶 清水鴻佑先生



日頃より、本校インターアクトクラブの活動に温かなご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。おかげさまでこの4月より、1年生の新入部員を8名迎え、現在は総勢16名で日々活動しております。社会のために、困っている人々のために、何らかの形で貢献したいと願う生徒がこれだけ多くいるのだと、顧問としても大変喜ばしく思います。今後の活動がますます盛り上がっていくよう、生徒たちの活動をサ

ポートして参りますので、ロータリークラブの皆様におかれましても、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

・伊那西高校インターアクトクラブ活動紹介 会長：森 弘佳さん 理事：下井咲和さん

1年生8名 2年生7名 3年生1名 顧問1名…計17名



令和6年度の活動まとめ(福祉体験等)

- ・ろう者の方との手話学習
- ・手話歌の制作と発表



令和6年度の活動まとめ(福祉体験等)

- ・点字学習
- ・防災食づくり体験
- ・障がい者支援



令和6年度の活動まとめ(独自研修)

- ・信州大学留学生交流会



令和6年度の活動まとめ(独自研修)

- ・修善寺清掃
- ・伊豆総合高校交流会



令和6年度の活動まとめ(ロータリー関係)

- ・地区大会 ・RYLA
- ・夏合宿 ・地区研修協議会



■ 幹事報告

小椋文成幹事

幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 出席報告

会員数45名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者26名 事前メイク3名
出席率74.36% 前回出席率 修正なし

■ 点 鐘

13:30

次回例会

5月29日(木) 点鐘/18:00 場所/フラワーパレス
・伊那 RC との合同夜間例会